学校と地域の共存、地域の学校サポートについて

1　学校と地域との関わりの現状について（小学校）

⑴ 見守り

（ア）　各校において、地域の防犯コミュニティーや PTA 等により、登下校時の交通安全や防犯に係る児童の見守りを実施。（各小学校）

⑵ 行事

（ア）　校区運動会を地域と PTA が協力して開催。（長小）

（イ）　秋の運動会を地域と協力して企画・運営等を行う。（東小）

（ウ）　校区運動会に会場及び放送機材等を提供。（各小学校）

（エ）　地域の自治会連合会主催の夏祭りに、金管バンドが出演したり、催し物への参加、ポスターづくりなど協力。（西小）

（オ）　親父会が運動会前の草刈りや、当日のイベント、駐車場整理等を手伝う。（南小）

（カ）　連合会主催の夏祭りに金管バンドが参加し、教員有志も参加している。（市小）

（キ）　毎月のまちづくり協議会準備会に教頭が参加している。（市小）

⑶ 指導

（ア）　毎年、地域のライフセーバー資格者が、着衣水泳指導を実施。（長小）

（イ）　地域の方々による「棒の手」に関する講話、実演及び体験会を実施。（長小、市小）

（ウ）　地域の方々による「岩作のオマント」等に関する講話を実施。（長小）

（エ）　地域の伝統芸能「棒の手」について、地域の方々を講師として、9～11 月の部活動として実施し、学習発表会で披露。（西小）

（オ）　地域の方々により伝統芸能「ざい踊り」を学び、学習発表会で披露。（東小）

（カ）　地域の方々にクラブ活動の講師を依頼。（東小）

（キ）　地域の方が課外活動（サッカー部）のコーチとして協力。（北小）

（ク）　地域の方が特別支援学級の習字の授業でお手伝いを実施。（北小）

⑷ ボランティア

（ア）　地域の方々や PTA 等を中心に、除草作業など環境美化についてボランティア活動を実施。（長小、東小、北小）

（イ）　地域の方々と PTA が、学校農園（除草や水やり、耕作等）や花壇の管理（除草、水やり）についてボランティア活動を実施。（北小、市小）

（ウ）　地域の方々が、夏休みの宿題を一緒にする会を実施。（北小）

平成28年10月24日
総合教育会議資料
教育部教育総務課作成

⑸ その他

(ア) 防災に関して、地域の防災拠点（避難所）となる学校について、その役割等に関して明らかになっていない。したがって、今後、市が避難所運営マニュアル（案）を策定する中で、行政や学校（教員）等の役割や責任等について整理する。

2 政策方針等

⑴ 長久手市教育大綱

教育大綱の理念の一つには「地域共存」があり、教育方針にも「地域で家庭や学校を支え、関わり合いながら、向上心をもって、ともに成長する」とあります。

⑵ 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」

総合戦略の中の具体的な施策の一つとして、「地域学校サポート事業」が掲げられています。その概要は、「学校、保護者、地域がともに連携し、子どもたちが安心、安全な生活ができるようにサポートします。登下校時の見守りや、授業中における障害のある子などの支援をサポート隊が行い、地域で、子どもを育てていく関係を構築します。」とあります。また、重要業績評価指標として、地域学校サポート隊参加者数の目標値を2019（平成31）年で700人/年としています。

⑶ 地域学校協働活動推進事業

昨年12月の中教審答申（地域と学校の連携・協働）や本年1月の「次世代の学校・地域」創生プランに基づき、地域で子どもを支える「地域学校協働活動」や、コーディネーターの配置や機能強化の基盤となる「地域学校協働本部」の整備を推進するなど、社会全体の教育力向上及び地域の活性化を図るとしています。

3 現状における問題点

⑴ 地域住民（ボランティア）の活動のコーディネートは、ほとんどを学校（教頭等）や個人に依存しており、持続可能な体制が構築されていない場合が多い。

⑵ 地域住民（ボランティア）の活動は、学校支援（見守り、行事、環境美化等）が中心であり、放課後子ども教室や児童クラブ、その他の地域活動（学習支援や子ども食堂を始めとした福祉や子育て支援、生涯学習等の事業を含む）との連携・協働が十分でない。

4 今後の展開

前述の問題点から課題を抽出し、「地域学校サポート事業」を推進するための活動方針等を整理します。